

# キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成28年 9月 5日

2級受検番号 NO 03S3110218 氏名 M・K（横浜在住）

## 1 試験に向けた準備の状況

実技試験は2回目のチャレンジで合格（前回は、論述だけをクリア）。

- ・6月上旬より論述試験準備
- ・7月上旬より実技ロープレ、勉強会参加 ※面接試験日は7月14日

### どのような内容を、どの程度行ったか

- ・論述：試験日（6/19）の直前、2日に分けて過去問題6回分を実施（1問毎、時間を正確に計りながら、60分の時間経過と記述のリズムを取り戻すことが最大の目的）
- ・面接：社内有志による勉強会で個別ロールプレイにより5つの事例を概ね2回実施。他「1級技能士の会」の2級技能士対策講座（実技試験対策）にも1回参加。

### 準備に対する振り返り

- ・1回目の不合格を経て、特に実技（面接）にかかる「問題把握力」「具体的展開力」が弱点であることと、口頭試問の準備不足がわかっていた。今回は、ロールプレイ全体を構成する流れ（時間配分）、ロジック、また試験官が評価するポイントをしっかりと頭に入れ、かつ、それを実際のロープレと口頭試問での受け答えまで「矛盾することなく」「連動させる」ことを意識した。

### これから受検する人へのアドバイス

- ・当たり前のことですが、「合格するために受ける試験」ですから、目の前のCLに集中しながらも、一方で**試験官に向けてしっかりアピールすることが大変重要**だと思います。また、**チェックポイントは論述試験と面接試験が同じである**ことも再認識すべきです。

- ① ロールプレイの20分間にかかる時間配分をブロック毎に分け、「関係構築」「CL視点の問題把握」「CC視点の指摘」「具体的方策」等それぞれにメリハリをつけ、今、「どのフェーズの作業を実施しているか」**試験官がジャッジし易いように「演じる」**。
- ② 但し、クロージングまでのスムーズな流れを作り、CCペースに持ち込むためには最初の10分間は一にも二にもオープンクエスチョンによる「傾聴」に徹し、**ラポールを形成すること**。これをおろそかにすると、方策に向けての流れが途絶える可能性あり。
- ③ **ヒアリングした内容を要約・説明し、CLの了承を得られれば、CC視点の問題点を躊躇せず自信を持って伝える**（問題点に突飛な想定は無い。自己理解不足、職業理解不足、情報不足、思い込み、コミュニケーション不足等で、必ずこれらのどれかに当てはまる）

- ④ CC視点の問題提起についてCLから了承を得られれば、具体的な方策もCC主導で自信をもって伝える。関係構築のみならず、問題解決に繋がる展開ができて初めて2級キャリアコンサルティング技能士試験の及第点・熟練コンサルタントとしての評価が得られることを念頭に置くこと。

2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日 : 7月14日

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

平日を希望したことにあまり深い理由はないのですが、受験者数が少なく落ち着いて臨めるような気がしたため。

試験官の性別：男性1人、女性1人	事例番号：1	2	3	4
------------------	--------	---	---	---

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	ゆっくりとした口調、穏やかな表情を意識して、話しやすい環境設定を心がけました。
② 基本的態度	CLが、事前に事例検討し想定していた人物像と異なり、明るくしっかりとしたタイプだったことから、課題、問題点を浮き彫りにするためオープンクエスチョンで、CLにできるだけ多くを語っていただくよう心がけました。
③ 関係構築	これまで23年も携わってきた営業としてのキャリアや実績を尊重すると同時に、現在の「思い」「迷い」に対してしっかりと寄り添い、共感を示すことを意識しました。
④ 問題把握	評価基準の変化、目標管理制度の導入で外部環境が変わったことにより「どんな気持ち」になって「今後どんな状態が望ましいのか」といった部分に課題点が隠されていると考え、CLの訴えるマイナス部分にフォーカスしたヒアリングを意識しました。
⑤ 具体的展開	現行の評価制度に対し抵抗感があると同時に、以前に志していた「英語教師」への漠然とした再チャレンジもほのめかしていたが、CC視点としては「自己理解不足からくる迷い」に焦点を絞り、まずは現職で最大限能力を発揮できるよう、キャリアの棚卸しと強み分析を一緒に検証していくことで同意を得ました。
⑥ 口頭試問の内容と回答	① 良かった点と気になった点 じっくり傾聴したことにより関係構築ができたため、具体的方策、今後取り組む内容についてスムーズに合意いただけた。一方で、後半の10分間は少しCCペースに持ち込み過ぎの感もあり、時間配分がおろそかになってしま

った（1分余り）。

① 関係構築はできたか？

後半少し強めに誘導してしまった部分もあったが、抵抗無く目標共有ができたので一定の関係構築ができたと思う。

① CL視点の問題点は？

23年営業職として勤めてきたが、この3月から目標管理制度が導入されて評価制度が変わり、仕事に対するモチベーションが落ちている。この機に会社を辞めることも含め考え迷っている。

② CC視点の問題点は？

お話を伺っている限りにおいて、営業としてしっかりと実績を積んでおり顧客からの信頼も厚い。にもかかわらず、新しい評価制度（まだ始まって3ヶ月）のもとで若干自信を失っていると思われる。これは大変もったいないことであり、むしろこの目標管理制度を逆手にとって実績を上げていくことが近道である。キャリアチェンジもほのめかしているが、自己理解が進めば自ずから今後のキャリア選択は可能である。

③ この面談を通してできたこと、今後もし再度面談機会があれば実行したいことは？

今後のキャリアを検討するための第一歩として自己理解を深めることの重要性をご理解いただけたことがよかった。

お話の中で、仕事のことやキャリアプランについて奥様に相談したことが無いと言われていたので、今後もし時間をいただけるのであれば、今後の仕事のあり方と平行してCLの人生全体について考えるための材料を提供したい。現状の困難に囚われて近視眼的な発想になりがちなので、俯瞰的にライフプラン（マネープラン含め）を検討することも必要。

### これから受検する人へのアドバイス

実技直前に1回参加した「1級CC技能士の会」の「2級技能士対策講座」でお聞きした講師：木村先生のお話が大変役に立ちました。

要は①「熟練CC」の試験である以上、ロープレは最終的にCC視点で「誘導」し、具体的方策までヤマを登りきることが重要。

② 但し前半10分でしっかりとアクティブリスニングによる関係構築があってはじめてそれが可能になること。

③ ③CLとラポール形成できた後には自信をもってCC視点での課題点を指摘し、方策実行までリードすべき④これらを肝に銘じ、ロープレ全体の流れをコントロールしリズム良く「演じる」こと。

以上のお話を伺ったことで実技試験に臨む「構え」のようなものに関して吹っ切れたような気がしました。

## 1 級キャリアコンサルティング技能士の会 分析チームからの「ひとこと」

### ■合格されたポイント

- ① 論述試験の過去問に本試験と同じ時間で向かい、試験のスタイルに慣れるとともに、解答の仕方を体得したことが有効でした。
- ② 問題把握・具体的展開でCLに説明してCL理解を得るとともに、試験官にも面接の流れやCLとの合意形成が分かってもらえるように意識してアピールしたことが効果的です。
- ③ 2 級技能検定はCCがCLの問題を正確に把握し、解決に向けた方策を提示できるか、まををみる試験という本質を理解し、それを意識した面接を実行できたことです。